

静岡県漁業協同組合連合会

1014 静岡市追手町 9-18
14.10.11 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 漁災法改正が10月1日施行 加入促進で運動を展開

改正漁災法は、今年3月1日に水産4法案の一つとして国会に上程され、6月11日可決成立し、19日に布告されました。関連政令は7月9日閣議決定され、12日公布、その後省令や関係告示の改正手続きが行われ10月1日施行されました。

漁業災害補償制度の改正では、漁業者のニーズに対して区分の統合や対象業種の追加、契約条件の緩和など共済事業を見直し、加入拡大を促して漁業経営の一層の安定と事業収支改善を図るもので、これを受けて漁済連・漁済組合は加入促進に向けて運動を更に強化していくことにしています。

今回の改正ポイントは、共済種目区分の見直し・契約条件の緩和 多様な経営体の加入に資する特約の創設 漁業施設共済の創設 補完共済の充実のための連合会による地域共済事業の創設 などとなっています。

2. 農林中央金庫臨時総会を開催「JFマリンバンク基本方針」を決定する

農林中央金庫では、去る9月18日臨時総会を開催し平成15年1月から施行される「改正再編強化法」において、農林中央金庫が信用事業を営む会員JF(漁協)水産加工協、JF信漁連に対し指導業務を行う場合には、あらかじめ基本的な方針を定めなければならないと規定されているため開催しました。

JF全漁連信用部会及び全国信用事業相互援助基金理事会では、本年2月に破綻未然防止策を中心とした「漁協系統信用事業における自主ルール」を決定し、既に4月から実施しています。

また、6月には改正再編強化法が成立し、漁協系統信用事業のための農林中金による特例指導業務、基本方針の制定、指定援助法人などが規定されたことを踏まえ、JF全漁連信用部会では、自主ルールを包含して内容を充実した「JFマリンバンク基本方針」の原案を決定しています。7月には農林中金の経営管理委員会の下に設置された「JFマリンバンク中央本部」での審議を経て、今回臨時総会で正式決定したものです。

基本方針は、基本的方向(1県1漁協、統合信漁連、再預け転貸方式による信漁連を中心とした複数漁協体制) 「JFマリンバンク会員」の役割 会員の責務 基本方針を遵守できない会員に対する措置 などから構成されています。

3. 台風21号による県下漁業被害状況

10月1日、伊豆諸島海域を北上した台風21号による漁業被害は、強い風、高潮、大雨により伊豆半島の漁協を中心に被害が出ており、伊東市漁協八幡野支所、稲取漁協では蓄養施

設が被害を受け、特に八幡野支所では蓄養施設が倒壊したため、蓄養中のイセエビを急遽移送するなどの大きな被害が出ました。

また、網代港、静岡漁協では高潮と雨による浸水で冷蔵庫の電気系統が故障し運転が停止する事態となり、更に松崎町、安良里、小川漁協では小型漁船の転覆や流出する被害が発生しています。

その他、戸田、土肥町、静岡、内浦、由比港では大雨により河川からゴミ、流草木など大量に流出し、これらが風により漁港内に入り込み漁港機能に支障を来す事態となり、翌2日には、漁協職員、組合員及び近隣住民による懸命な回収清掃作業が行われました。

4. 全国漁業協同組合学校 平成15年度学生募集

全国漁業協同組合学校(千葉県・柏市)では、このほど平成15年度(第64期)学生募集要項を次のとおり公表しました。

募集人員：50名(男女共学) 応募資格：1年以上漁業に従事し、または漁協系統団体に勤務中の者 高卒(平成15年3月までの卒業見込者を含む)または同等以上の学力を有すると認められる者 いずれも漁協系統団体の推薦が必要 応募期間：平成14年12月2日(月)～平成15年1月17日(金) 応募先：出身地域の漁連会長宛 入学選考料：3万円 応募書類：入学願書、成績証明書、健康診断書、推薦書(系統団体) 選考：平成15年2月14日(金)10：00～応募書類提出先の連合会で書類審査、学科試験(小論文)、面接 但し、現職者は学科試験免除 入学発表：平成15年2月21日(金) 問合せ先：同校 TEL 04-7144-8125 FAX 04-7145-5003

5. 「魚ッとする」コンテストの3部門最優秀作品決まる

焼津市が主催するマグロをテーマとした「魚(ぎょ)ッとするコンテスト」の最終審査が、去る9月22日開催された「オータムフェスティンやいづ」会場内で行われ、料理部門では全国の応募作222点の中から、清水市の主婦 伊東敬子さんの「鮪(マグロ)のタルタルステーキ」が最優秀賞に輝きました。創作食器の部には、27点の応募があり、その中から北海道の鈴木祐一さんが「マグロっとう魚皿」、デザイン部には103点の応募があり、その中から大阪府の岩田新司の「焼津でギョッ」が最優秀賞に選ばれました。なお、県内での創作食器の部では焼津市の増田勝雄さんの「高台付平皿『黒潮』」が優秀賞を受賞しました。

伊東さんの受賞作は、マグロの赤身に卵黄を混ぜると(トロみみたいな味覚)が得られることをヒントに、ケッパーやアンチョビー、あさつきを美しく添えたもので火を使わない手軽さ、食べる人が好みであえ、新たな香りや味の広がりをそれぞれ皿の上で発見できる趣向が評価されたもので、皆様もご家庭で挑戦したらいかがでしょうか。

6. 諸会議・日程(10月15日(火)～10月28日(月))

- 既報分省略 -

10月22日(火) 県漁連 = 第5回理事会、漁協組合長会議実行委員会 (県水産会館)

10月24日(木)～25日(金) 県桜えび組合 = 生産技術研修会 (大井川町・由比港漁協)